

平成25年度 三条市体育部 活動報告

部長 米山俊彦

1 研究主題

楽しく運動する児童の育成 ～体育学習の充実のための研修会～

2 研究の概要

日時	活動の概要	会場・参加者数
6月21日(金)	◎実技講習会 活動名 「楽しみながら体力アップ 跳力向上のための指導法～『跳の動き』づくり～」 講師 長岡市立南中学校 教諭 南雲 真一 様 概要 ○体の“軸”を基本とした跳の動きづくり ○走幅跳び、走高跳の助走指導の要点 ○感覚をつかませる言葉がけの具体例	会場 栄中央小学校 グラウンド 参加者 体育部員 22名 
9月25日(水)	◎実技講習会 活動名 「作戦が面白くなるボール運動の指導法」 講師 上越教育大学 教授 土田 了輔 様 概要 ○ボール運動の基本構造 ○ソフトバレーボールのチームごとの「傾向と対策」の具体例 ◎教育課程伝達講習	会場 南小学校体育館 参加者 体育部員 27名 

3 研究の実際

- ・体力アップの実技講習会では、まず走りの基本は体の「軸」であることを確認した。その後、実技を通して、走幅跳と走高跳の助走のリズムや歩数の指導の仕方を教えていただいた。その中で、子どもに感覚をつかませるための言葉がけの方法や具体例を指導していただいた。
- ・ボール運動の実技講習では、ボール運動の基本構造は「直進と迂回」であるという理論と、チームの「傾向」ととらえ「対策」をチーム内の言語活動で考えていくという授業作りを教えていただいた。その上で、ソフトバレーボールを実際にやりながら、「傾向と対策」の具体例を学んだ。

4 成果と課題

- 今年度は実務経験指導者と理論と実務を合わせ備えた指導者を招き研修を行った。そのことでより理論的な指導方法や具体的で直ぐに生かせる指導方法が学べ好評であった。
- 跳躍種目の助走の歩数や合わせ方の基礎を知ることができた。その基礎を土台に、実技を通して、練習方法や、技術向上のポイントが子どもに明確に伝わる指導法を学ぶことができ、親善陸上大会での実際の指導に役立てることができた。
- ボール運動は「直進と迂回」から成り立つという理論をもとに、ボール運動の根本を考えるよい機会となった。ソフトバレーボールの実技では、試合を通して相手の「傾向」をつかみ、その「対策」考えさせることで、思考と技能を向上させる指導法の有効性を実感することができた。
- 各校の体育指導力を向上させるためにも各校での研修成果の確実な伝達が必要である。